

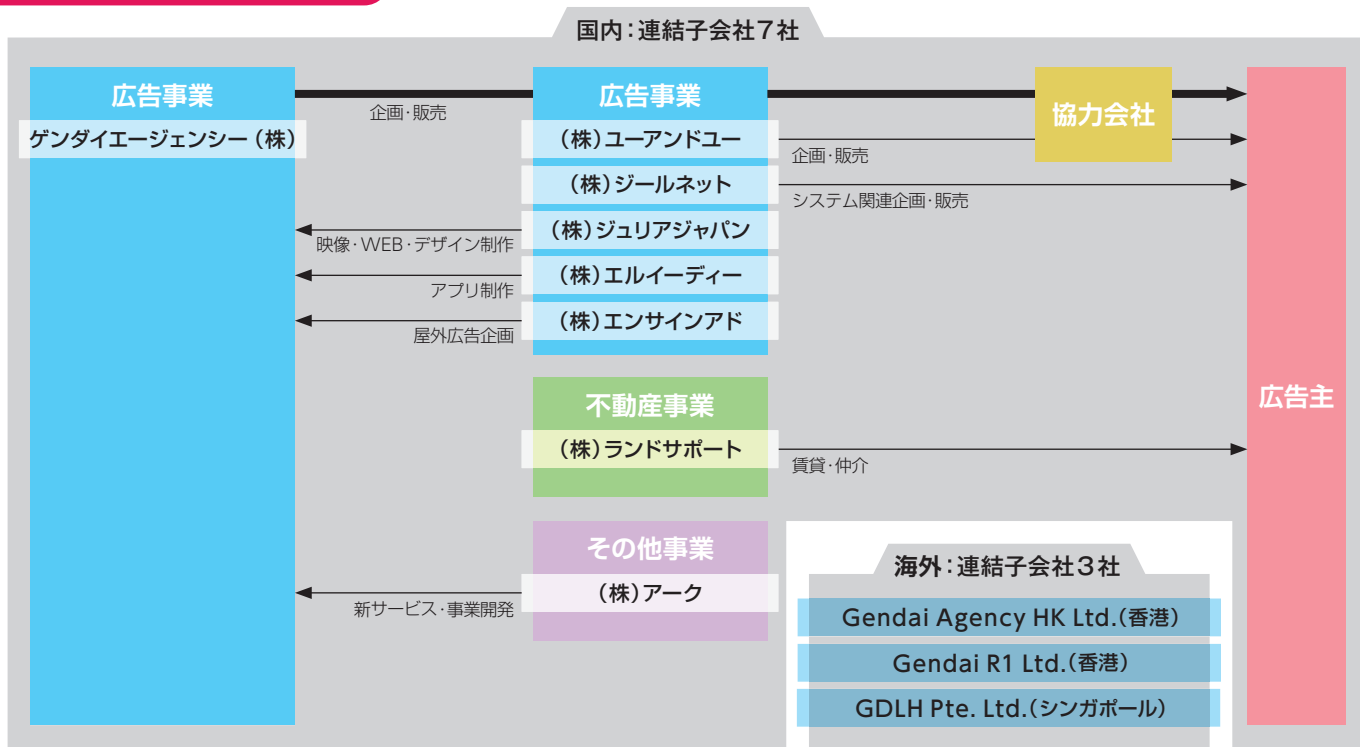
株主通信

2017年3月期

2016年4月1日～2017年3月31日

ゲンダイエージェンシー株式会社

グループ会社の概要



1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告システム等の企画制作

(株) エルイーディー

スマートフォンアプリ等の企画開発

(株) エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

3. その他事業

(株) アーク

新サービス、新事業の調査開発

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。



連結財務ハイライト

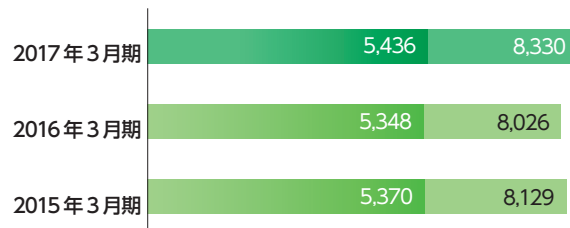
● 売上高

(単位：百万円)



● 総資産額／純資産額

(単位：百万円)



● 経常利益

(単位：百万円)



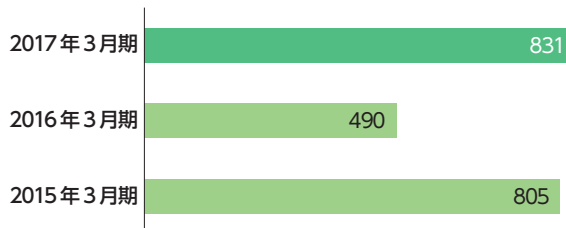
● 1株当たり純資産額

(単位：円)



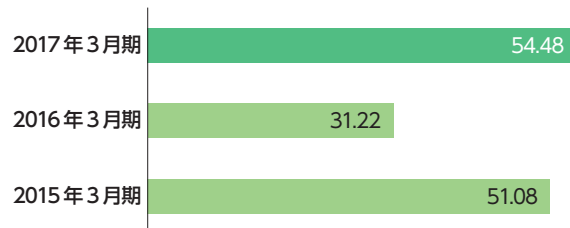
● 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



● 1株当たり当期純利益

(単位：円)



株主の皆様へ



右： 代表取締役 CEO 山本 正卓

左： 代表取締役 COO 上川名 弦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、2017年3月期連結会計年度のご報告を申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、輸出や設備投資の動きは鈍かったものの、個人消費の持ち直しも見られ、緩やかな景気回復を進めております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。新規出店は減少傾向にあるものの、ここにきて一部の大手法人での同業法人の買収や、既存営業店舗を購入後に屋号変更するなどの方法を取りグループ化するなどの動きが出てきており、業界再編が進みつつあることがうかがえます。また、全国のパチンコホールにおいて、2016年12月末を期限として「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」の撤去が行われたこともあり、この先の収益動向について、不確実性が増しております。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業の拡大に注力し、収益の底上げを図ってまいりました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は15,851百万円(前期比6.3%減)と減収であったものの、営業利益は1,269百万円(同11.2%増)、経常利益は1,268百万円(同12.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は831百万円(同69.7%増)と、それぞれ増益となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの年間配当金は25円とし、期末配当金1株当たり13円のお支払い開始日は2017年6月30日(金)とさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2017年6月



2017年3月期の各事業概況

広告事業

当連結会計年度におけるパチンコホール広告市場は、2016年3月期に引き続き、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告費の削減が断続的に続いたことに加え、2016年5月に開催されたG7伊勢志摩サミットに関連して、全国のパチンコホールで約1カ月間にわたり遊技機の入替自粛が行われたことから、広告需要は低迷する状況にありました。また、業界環境の不透明感を反映して、ホール企業の新規出店案件は減少し、さらに、2016年12月末を期限とする「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」の撤去後は、遊技機の新台入替が低調に推移し、入替告知広告需要は伸び悩みました。

こうした環境下において、当社グループでは、需要の減少による影響を最小限に食い止めるため、新規大手顧客の開拓や、自社メディアである「パチ7」をはじめとしたインターネットメディアの拡販、異業種向けプリンティング事業の営業強化を推進してまいりました。また、コスト面においては、営業拠点の集約、受注プロセスの抜本的な見直しによる合理化、省力化を進めることで、固定費の抑制に注力いたしました。

これらの取組みが奏功し、売上高については、2016年3月期からの減少幅を最小限に食い止め、15,643百万円(前期比6.2%減)となり、セグメント利益については、固定費の削減効果が寄与し1,581百万円(同7.2%増)となりました。

不動産事業

当連結会計年度においては、連結子会社(株)ランドサポート(以下、LS社)において、これまで契約が継続中であった2件の賃貸案件のうち1件が当第3四半期中に契約満了を迎えました。また、もう1件の兵庫県の賃貸用土地は、2017年1月末に売却いたしました。一方で、2017年1月末に新たに千葉県に賃貸用土地を取得し、パチンコホール運営企業への賃貸契約を開始しております。

これらの結果、不動産事業の売上高は120百万円(前期比19.7%減)となったものの、セグメント利益は固定費の削減が寄与し、59百万円(同7.2%減)となりました。

その他

当連結会計年度においては、主たる事業として、連結子会社Gendai R1 Ltd.における香港飲食事業の事業運営が次第に安定化してまいりました。また2017年3月期中に新規事業案件として、パチンコホールの遊休地活用コンテンツの調査研究のため、ストレージ事業

のテストを開始しております。

これらの結果、売上高は87百万円(前期比3.3%増)、セグメント損失は19百万円(前年同期は19百万円の損失)となりました。

なお、当社は主として東南アジアにおけるカジノ運営事業への参入を目的として、2017年2月にシンガポールに連結子会社GDLH Pte. Ltd.を新設し、事業開始に向けた準備を進めております。

中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、パチンコホール広告市場におけるマーケットリーダーとして、その強みであるサービスの付加価値と生産性の向上を不断に追求し、厳しい環境下においても安定的な収益性を確保していくとともに、常に新たな事業機会を模索し、積極的な事業開発に取り組むことにより、グループの持続的な成長を実現していきたいと考えております。

持続的な成長を実現するため取り組むべき戦略課題のうち、主なものは以下のとおりであります。

1. 広告事業における顧客開拓、取引深耕と、ローコストオペレーションの推進

- 営業における提案活動を質的、量的に充実させ、中でも大都市圏における未取引の大手法人の顧客開拓と、既存大手顧客との取引深耕に注力し新たな需要を開拓
- 受注から納品に至る全工程のボトルネック解消による生産性の向上
- 連結子会社(株)ジュリアジャパンを活用したデザインコストの削減を推進

2. 広告事業におけるインターネットメディアの市場浸透

- パチンコユーザーに特化した自社開発メディアの充実
- 各種インターネット広告ツールを提供する外部パートナーとのアライアンスによる、パチンコホール向けサービスの開発や提供
- これまで当社が得意としてきた、紙媒体広告とインターネット広告の複合によるプロモーション戦略の最適化策を提供

3. 事業領域の拡大

- 当社グループの主力事業である広告事業の隣接分野(次世代メディア、異業種広告、アミューズメント関連マーケティングなど)に関する調査・研究を強化
- 他業界の有力企業との事業提携による、サービスラインの拡充を積極的に推進



目標とする経営指標、配当政策

目標とする経営指標

当社グループが重要視している経営指標と、その実績は以下のとおりです。引き続き、「生産性」「付加価値」および「資本効率」を重視した経営を推進してまいります。

	目標値	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)
売上高営業利益率 (生産性と付加価値の向上)	10.0%以上	6.8%	8.0%
ROE(資本効率の向上)	30.0%以上	9.2%	15.4%

配当政策と2017年3月期の配当について

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

2017年3月期の配当金につきましては、上記の基本方針を踏まえて、1株当たり13円といたします。なお、当期の中間配当金(12円)と合わせた1株当たり年間配当金は25円(連結配当性向45.9%)となります。

経営戦略実現のための施策

2018年3月期は、次の課題に取り組んでまいります。

① パチンコホール広告事業における継続的な収益構造の改善

継続するパチンコホール店舗数やユーザー数の減少と、それに伴うパチンコホール広告需要の低迷による厳しい経営環境に適応するため、この先も事業の収益構造の改善に注力してまいります。

●インターネットメディアやツールの販売構成比アップのための施策を実施し、収益性の向上を目指す

▶自社開発メディアである「パチ7」のコンテンツのさらなる充実によるメディア価値の向上

▶パチンコユーザー専用DSPツールである「Pachi Ad(パチアド)」の拡販

- 労働市場の動向から需要の伸びが期待されるパチンコホールの求人広告事業に、さらに人員を追加し、収益性向上を図る
- パチンコホール広告需要の持続的な減退に備え、個別の収益性を勘案した販売アイテムの整理を進め、社内オペレーションの一層の効率化とコストダウンを実現する。必要に応じて、事業全体のダウンサイジングを図ることで望ましい収益構造を構築する

② パチンコホール以外の異業種クライアントに対する広告営業展開

パチンコ広告需要の減少に対応し、顧客基盤の強化を図るため、異業種クライアント向けプリンティング事業およびデザイン受託ビジネスの事業のさらなる事業拡大を推進し、グループ全体での広告取扱高の増加を目指してまいります。

- デザイン受託ビジネス…デザイン制作ECサイトである「アドラク!」の機能強化と認知度向上に向けた投資を実施し、収益性の向上を目指す
- 連結子会社(株)ユーアンドユーを起点として、通販会社を主とする新規クライアントの継続的な獲得を進め、持続的な事業の成長を目指す
- 広告事業における活動領域の拡大に向けて、異業種クライアントの広告活動についての調査、研究を継続的に進めるとともに、他の広告会社との提携や買収についても積極的に検討する

③ 事業領域拡大のための東南アジアにおける電子カジノ運営事業への参入

2017年2月にシンガポールに新設した連結子会社GDLH Pte. Ltd.を起点として、まずはカンボジア国内における電子カジノ運営事業に着手してまいります。初年度は運営体制の構築と運営ノウハウの蓄積を進めるとともに、本事業のさらなる拡大に向け、他の東南アジア各国における参入機会の調査と、案件開発・交渉についても併行して進めてまいります。

基本的な考え方

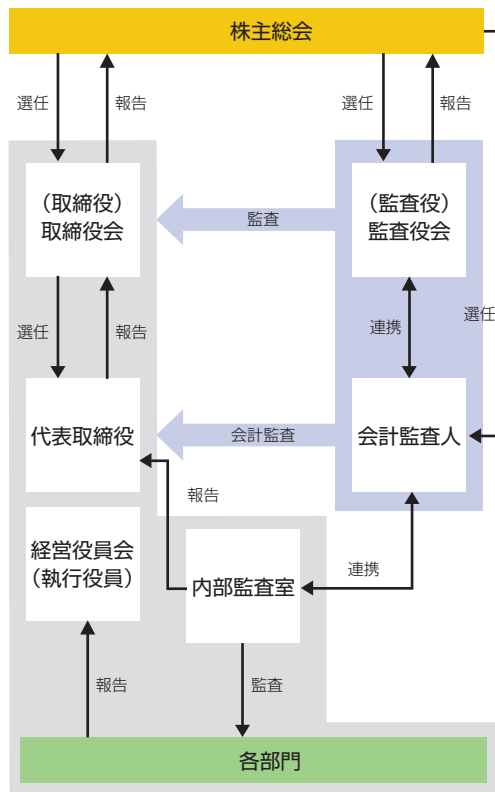
当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性（コンプライアンス）と透明性（ディスクロージャー）を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上、開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

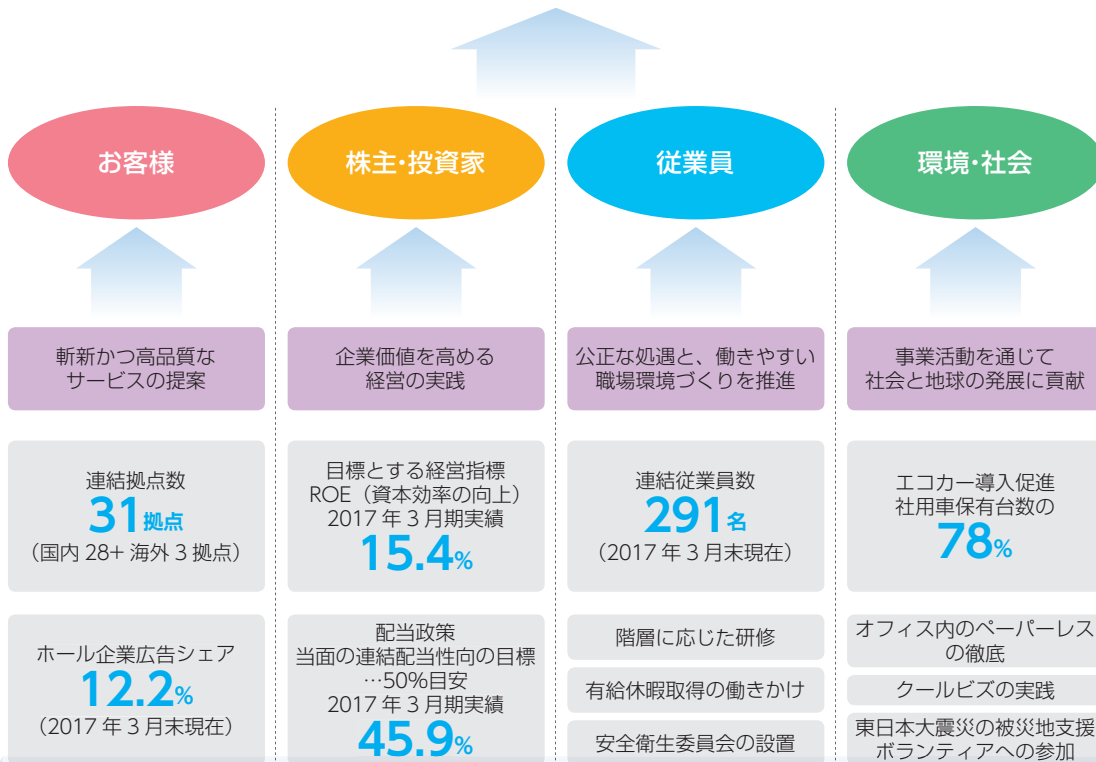


ゲンダイエージェンシーのCSR

ゲンダイエージェンシー株式会社は、環境、社会的責任、コーポレート・ガバナンスに配慮し、持続可能な社会や経済の発展を目指した取り組みの実践に努めてまいります。

●ゲンダイエージェンシーの価値●

企業理念の実現



法令を遵守し、健全で透明性の高い企業活動の実行

●コーポレート・ガバナンス ●コンプライアンス ●情報セキュリティ ●リスク管理

企業理念

●基本理念

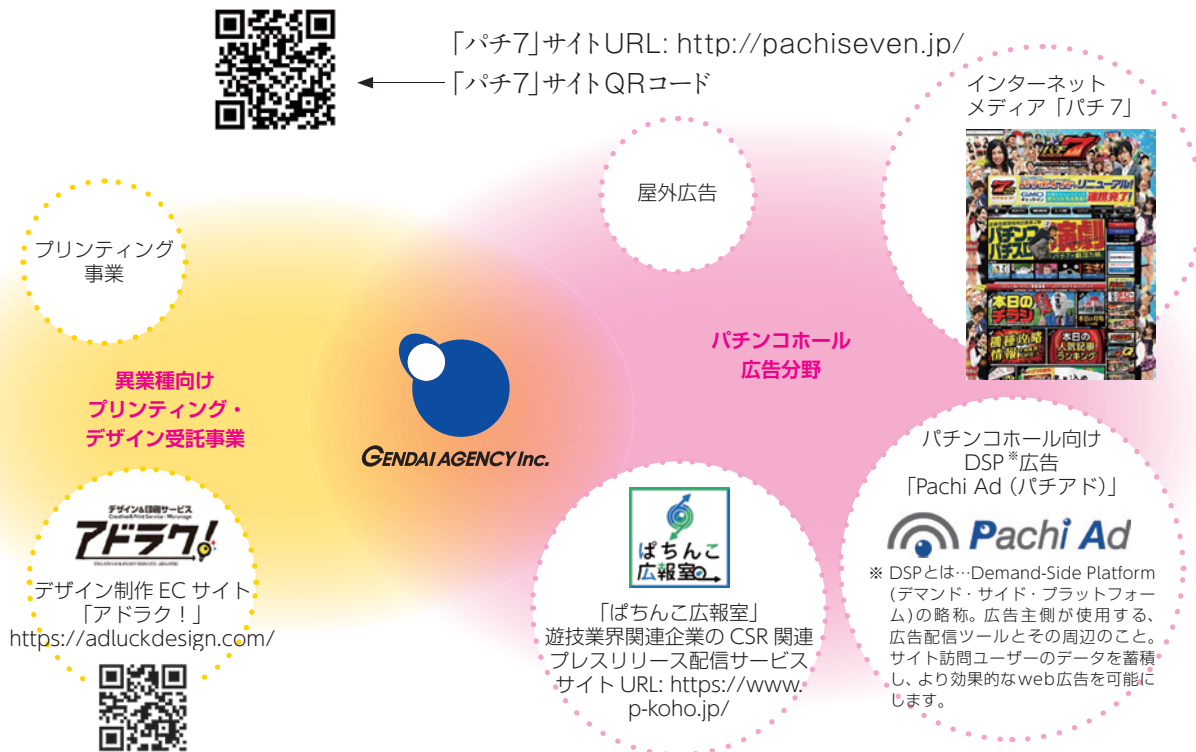
私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

●2つのビジョン

●4つの行動規範

■ 広告事業の収益構造の転換

パチンコホール広告分野を対象とした、自社開発メディア「パチ7」などのインターネットメディアや、屋外広告に加え、パチンコホール向けDSP広告「Pachi Ad(パチアド)」や求人広告等、サービスの幅を広げています。異業種クライアント向けには、プリンティング事業やデザイン受託ビジネスを軸に事業拡大を図ります。デザイン制作ECサイト「アドラク!」の機能強化や認知度向上にも注力し、広告事業をベースにした様々な取り組みを行っています。



■ 東南アジアでの電子カジノ運営事業へ参入

2017年2月に、シンガポール共和国に新設した連結子会社GDLH Pte. Ltd.を起点として、まずはカンボジア国内における電子カジノ運営事業に着手します。2018年3月期は運営体制の構築と運営ノウハウの蓄積を進めると同時に、本事業のさらなる拡大に向けた他の東南アジア各国での参入機会の調査と、案件開発・交渉も進めてまいります。



財務諸表

① 総資産 <

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金が増加する一方、売上債権が減少したことに加えて、LS社における土地の売却および新規取得により土地が減少したことなどにより、前連結会計年度末（2016年3月期）と比較し303百万円増加の8,330百万円となりました。

② 負債合計 <

当連結会計年度末の負債合計は、借入金（長期含む）が増加する一方、取引高の減少により仕入債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して215百万円増加の2,893百万円となりました。

③ 純資産合計 <

当期純利益831百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当416百万円および自己株式取得345百万円（当期中に全額消却済）を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して88百万円増加の5,436百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2016年3月31日現在)	当連結会計年度 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,129	6,760
現金及び預金	3,507	4,374
受取手形及び売掛金	2,289	1,870
有価証券	150	290
繰延税金資産	17	17
その他	167	209
貸倒引当金	△ 2	△ 1
固定資産	1,897	1,570
有形固定資産	946	681
無形固定資産	123	107
投資その他の資産	827	781
① 資産合計	8,026	8,330
負債の部		
流動負債	2,160	2,100
支払手形及び買掛金	1,408	1,132
短期借入金	100	300
1年内返済予定の長期借入金	190	240
未払法人税等	213	239
その他	248	188
固定負債	518	793
長期借入金	500	760
資産除去債務	8	8
その他	10	24
② 負債合計	2,678	2,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,502	3,572
株主資本合計	5,317	5,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 3	17
為替換算調整勘定	26	23
その他の包括利益累計額合計	23	40
非支配株主持分	7	9
③ 純資産合計	5,348	5,436
負債純資産合計	8,026	8,330

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)
4 売上高	16,919	15,851
売上原価	13,184	12,243
売上総利益	3,734	3,607
販売費及び一般管理費	2,592	2,337
営業利益	1,142	1,269
営業外収益	17	10
営業外費用	29	10
4 経常利益	1,129	1,268
特別利益	17	—
特別損失	285	37
税金等調整前当期純利益	861	1,230
法人税、住民税及び事業税	407	397
法人税等調整額	△ 36	0
法人税等合計	371	398
当期純利益	490	832
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 0	1
4 親会社株主に帰属する当期純利益	490	831

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)
当期純利益	490	832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 13	20
為替換算調整勘定	26	△ 3
その他の包括利益合計	13	17
包括利益	503	849
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	503	848
非支配株主に係る包括利益	△ 0	1

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	848	1,031
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	79
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 631	△ 251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 20	△ 4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 63	855
現金及び現金同等物の期首残高	3,536	3,513
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	40	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,513	4,368

4 売上高・経常利益・当期純利益

主要顧客であるパチンコホール業界では、依然として収益面で厳しい状況が続いています。その他、業界再編の動きがあるなど、この先の収益動向について不確実性が増しています。このような状況のもと、当社グループでは、インターネットメディアの拡販活動などで収益の底上げを図るとともに、収益性改善のための固定費抑制に注力しました。その結果、当連結会計年度の売上高については前年同期と比較して6.3%減少の15,851百万円と減収であったものの、経常利益は前年同期比12.3%増加の1,268百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比69.7%増加の831百万円と、それぞれ増益となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益1,230百万円の計上に加えて、減価償却費97百万円をはじめとする非資金費用があった一方、法人税等の支払380百万円などが発生したことなどにより1,031百万円の収入(前年同期は848百万円の収入)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主にLS社による土地の売却および新規取得などにより、有形固定資産の売却による収入750百万円と、有形固定資産の取得による支出596百万円があったことなどにより、79百万円の収入(前年同期は260百万円の支出)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に長短期借入金の純増加額が700百万円あった一方で、配当金の支払416百万円や自己株式の取得による支出345百万円があったことなどにより、251百万円の支出(前年同期は631百万円の支出)となりました。



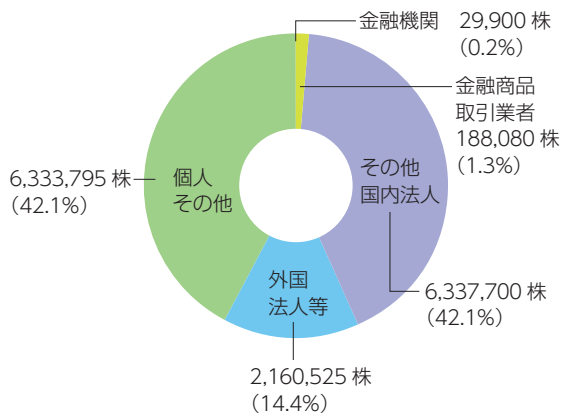
株式の状況

< 2017年3月31日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,050,000株
 株主数 5,275 人

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,244,000	34.8
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行	850,000	5.6
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.2
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.5
5 梅田 美智子	362,900	2.4
6 山本 正卓	322,400	2.1
7 完山 敏錫	320,000	2.1
8 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	250,990	1.7
9 吉田 知広	226,500	1.5
10 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	189,900	1.3



会社情報



会社概要

< 2017年3月31日現在 >

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル29F TEL: 03-5308-9888 (代表)
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,050,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社、クリエイティブ本部 ●全国16営業拠点 (札幌、仙台、東京、宇都宮、さいたま、横浜、 松本、名古屋、静岡、大阪、神戸、広島、岡山、 松山、福岡、鹿児島)
連結子会社	(株)ランドサポート / (株)ユーアンドユー / (株)ジュリアジャパン / (株)ジールネット / (株)エルイーディー / (株)エンサインアド / (株)アーク / Gendai Agency HK Ltd. / Gendai R1 Ltd. / GDLH Pte. Ltd.

役員一覧

< 2017年6月29日現在 >

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO兼CCO	上川名 弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役	木藤 友治
取締役	坂本 哲進
取締役(社外)	上 岳史
取締役(社外)	松崎 みさ
常勤監査役	安達 吉明
監査役	寺田 公規
監査役	東 徹
監査役	高野 健二

ケンピー・エンジェルス株式會社 | [ホーム](#) | [お問い合わせ](#) | [English](#) | [サイトマップ](#) | [お申し込み](#)

[ニュースリリース](#) [会社情報](#) [サービスについて](#) [IR・投資家情報](#) [CSRの取り組み](#) [採用情報](#)

IR・投資家情報

ホーム > IR・投資家情報

株価情報
Yahoo!ファイナンス

株主・投資家の皆様へ

**5分でわかる
ケンパイ・エンジェルス**

IRカレンダー

2017年4月14日 2017年3月度決算発表

ニュースリリース

- 2017年03月15日 [プレスリリース](#) 全配当金に関する事項について (6518kb) [PDF](#)
- 2017年04月14日 [プレスリリース](#) 2017年3月期決算資料 (13181kb)
- 2017年04月14日 [プレスリリース](#) 平成29年3月期決算報告（日本基準）（通称）(3224kb)
- 2017年01月31日 [プレスリリース](#) 〈関係者の皆様〉シリンググループ子会社化に関するお知らせ (177kb)
- 2017年03月10日 [プレスリリース](#) 自己株式の償却に関するお知らせ (479kb)
- 2017年01月31日 [プレスリリース](#) 第4四半期業績・第2四半期決算（平成28年10月1日～平成28年12月31日）(824kb)
- 2017年01月29日 [プレスリリース](#) 2017年3月期 第3四半期決算資料資料 (4674kb)

IR・投資家情報

- [IRニュースリリース](#)
- [株主・投資家の皆様へ](#)
- [経営方針](#)
- [事業紹介](#)
- [株主還元方針・配当等](#)
- [財務ハイライト（通称）](#)
- [株主・役員報酬](#)
- [コーポレート・ガバナンス](#)
- [IRカレンダー](#)
- [IRウェブサイト](#)
- [電子公告](#)
- [ディスクロージャーポリシー](#)
- [よくあるご質問](#)
- [お問い合わせ](#)

● 株主・投資家の皆様へ

株主・投資者の皆様へ当社代表よりのご案内申し上げます。

● 経営方針

本社グループの今後の発展に向けてのご挨拶です。

● 事業紹介

本社グループの事業についてご案内いたします。

● 株主還元方針・配当等

高度な経済的価値を創造し、株主に還元していきます。

● 財務ハイライト（通称）

連結財務諸表（通称）等に沿ってご説明いたします。

● 株主・役員報酬

株主に對する報酬を合理的に決定します。

● コーポレート・ガバナンス

会社の健全な成長と株主の方々に貢献いたします。

● IRカレンダー

株主に関する重要なイベントや予定を把握していただけます。

● IRウェブサイト

株主に對する情報をWeb形式でダウンロードできます。

● 電子公告

法定披露事項をお知らせいたします。

● ディスクロージャーポリシー

株主の皆様からのご要望にお応えいたします。

● よくあるご質問

よくあるご質問とその回答をご用意しています。

● お問い合わせ

御に関するお問い合わせはこちらから承ります。

A Page Top

● 会社情報

- ・ 代表者（社長）
- ・ 取締役会
- ・ 監査役会
- ・ グループの組織図
- ・ 経理
- ・ 役員報酬
- ・ 役員退任金

● サービスについて

- ・ サービス概要
- ・ サブスクリプション
- ・ パイプラインモデルの説明
- ・ ケンパイ・エンジェルのサービス

● IR・投資家情報

- ・ IRニュースリリース
- ・ 株主・投資家の皆様へ
- ・ 経営方針
- ・ 事業紹介
- ・ 株主還元方針・配当等
- ・ ケンパイ・エンジェルの（通称）
- ・ 株主・役員報酬

● ニュースリリース

- ・ CSRの取り組み
- [採用情報](#)
- ・ コーポレート・ガバナンス
- ・ IRカレンダー
- ・ IRウェブサイト
- ・ 電子公告
- ・ ディスクロージャーポリシー
- ・ よくあるご質問
- ・ お問い合わせ

企業情報 プライバシーポリシー 各サイトの利用規約 サイトマップ

Copyright © 2013 GINDEN AGENCY Inc. All Rights Reserved.

